

瀬戸市記者会、豊田市政記者クラブ、  
豊田市政記者東クラブ、長久手市同時



当センターに整備された透過電子顕微鏡

平成24年10月18日(木)  
あいち産業科学技術総合センター  
共同研究支援部 計測分析室  
担当 鈴木、加納  
ダイヤルイン 0561-76-8315  
愛知県産業労働部産業科学技術課  
管理・調整グループ  
担当 西村、山口  
内線 3381、3388  
ダイヤルイン 052-954-6347

## 「計測分析に関する講演会」の参加者を募集します —電子顕微鏡による観察・分析事例などを紹介—

今年2月14日、「知の拠点」にオープンしたあいち産業科学技術総合センター<sup>\*1</sup>本部では、高度な計測機器を用いた分析・評価により、企業の方々の研究開発や製品開発を支援しています。

透過電子顕微鏡(TEM)<sup>\*2</sup>、走査電子顕微鏡(SEM)<sup>\*3</sup>は、セラミックス、半導体、金属やプラスチックなど固体材料の微小領域の観察・分析が可能です。物質構造解析の有効な手段であるため、新規機能性材料の研究開発や材料の分子・原子レベルの構造に由来する製品の不具合の調査に役立ちます。

これら電子顕微鏡を用いた計測分析に関する講演会を、12月7日(金)に、あいち産業科学技術総合センター本部にて開催します。

講演後には、当センターの分析機器と、隣接するシンクロトロン光利用施設<sup>\*4</sup>の見学会を行います。

参加費は無料です。多くの皆様の参加をお待ちしております。

### 1 日時

平成24年12月7日(金) 午後1時30分から午後4時40分まで

### 2 場所

あいち産業科学技術総合センター本部 1階 講習会室  
(豊田市八草町秋合1267-1 東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南」駅北側すぐ)

### 3 主催等

主催：あいち産業科学技術総合センター  
共催：(公財)科学技術交流財団

#### 4 内容

##### ・「透過電子顕微鏡（TEM）の基礎的事項と応用例」

大阪大学 超高圧電子顕微鏡センター 特任教授 <sup>もり ひろたろう</sup> 森 博太郎 氏  
(午後1時40分～2時40分)

##### ・「走査電子顕微鏡（SEM）による先端材料向け最新解析技術」

株式会社日立ハイテクノロジーズ モノづくり統括本部  
グローバルアプリケーションセンタ センタ長 <sup>たもち りゅういちろう</sup> 多持 隆一郎 氏  
(午後2時50分～3時50分)

##### ・施設見学

あいち産業科学技術総合センター 計測分析室  
シンクロトン光利用施設  
(午後4時～4時40分)

#### 5 参加費

無料

#### 6 定員

100名（先着順）

#### 7 申込方法

技術開発に取り組む企業の方々を始め、どなたでも自由に参加できます。  
参加申込書に必要事項を記入の上、FAX、郵送または電子メールでお申込みください。  
申込書は、あいち産業科学技術総合センターのホームページ  
(<http://www.aichi-inst.jp/>) からダウンロードできます。

#### 8 申込期限

平成24年12月6日（木）午後5時まで（定員に達し次第締め切ります）。  
※参加受付証は発行いたしません。お申込みの上、直接会場にお越し下さい。  
なお、定員超過の場合のみ連絡させていただきます。

#### 9 申込先及び問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部  
計測分析室 鈴木、加納  
〒470-0356 豊田市八草町秋合1267-1  
電話：0561-76-8315 FAX：0561-76-8317  
メールアドレス：AIC0000001@chinokyoten.pref.aichi.jp  
URL：<http://www.aichi-inst.jp/>

【用語説明】

用語	説明
*1 あいち産業科学技術 総合センター	地域企業の総合的な支援機関である愛知県産業技術研究所と付加価値の高いモノづくりを支援する研究開発拠点である「知の拠点」の先導的中核施設を統合した新組織の名称。平成 24 年 2 月 14 日にオープンした。
*2 透過電子顕微鏡 (TEM)	<b>Transmission Electron Microscope</b> の頭文字。 <b>TEM</b> は、観察試料に電子線を照射し、透過してきた電子を捉えて検出することで、微小領域中の内部構造や結晶構造を高倍率で観察できる装置。
*3 走査電子顕微鏡 (SEM)	<b>Scanning Electron Microscope</b> の頭文字。 <b>SEM</b> は、細く絞った電子線を、観察試料表面で走査させ、試料から出てきた電子を検出することで、試料表面の凹凸、元素情報を得ることが出来る装置。
*4 シンクロトロン光 利用施設	シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波。非常に明るく（通常の計測装置で用いる電磁波の千倍から百万倍）、1 台の装置でマイクロ波、赤外、可視、紫外から X 線まで連続した波長の光を出すことができる。ナノテク分野の研究開発を支援する最先端の計測装置を備えるものとして、「知の拠点」において重要な役割を果たす施設で、産業利用を重視している。

# 計測分析に関する講演会 「固体材料の微小領域解析事例」 ～透過電子顕微鏡、走査電子顕微鏡～

## 開催のご案内

主催:あいち産業科学技術総合センター

共催:(公財)科学技術交流財団

今年2月14日、次世代ものづくり技術の創造・発信の拠点である「知の拠点」に、「あいち産業科学技術総合センター」がオープンしました。当センター本部には、種々の高度分析機器が整備され、企業の研究開発・製品開発の支援のため利用されています。

このたび整備した機器のうち、透過電子顕微鏡（TEM）と走査電子顕微鏡（SEM）による固体材料の微小領域解析に焦点を当てた講演会を、当センター本部にて12月7日（金）に開催します。TEMは、金属やセラミックス、半導体などの材料内部の組織や形態、結晶構造を観察し、材料解析を行うために有用な装置です。また、SEMは、金属やセラミックス、プラスチックなどの材料表面の形状や組成などを観察し、解析するために有用な装置です。

本講演では、企業の開発、不良解析の一助となるような、TEM、SEMを用いた観察・分析事例を詳しくご紹介いたします。

講演後には、当センターの分析機器及び隣接するシンクロトロン光利用施設の見学会を行います。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成24年12月7日（金） 午後1時30分～午後4時40分

【場 所】あいち産業科学技術総合センター 1階 講習会室

愛知県豊田市八草町秋合 1267-1 TEL: 0561-76-8315

### 【プログラム】

時間	内容
13:30 ～ 13:40	開会の挨拶
13:40 ～ 14:40	「透過電子顕微鏡（TEM）の基礎的事項と応用例」 大阪大学 超高压電子顕微鏡センター 特任教授 <small>もり ひろたろう</small> 森 博太郎 氏
14:50 ～ 15:50	「走査電子顕微鏡（SEM）による先端材料向け最新解析技術」 株式会社日立ハイテクノロジーズ モノづくり統括本部 グローバルアプリケーションセンタ センタ長 <small>たもち りゅういちろう</small> 多持 隆一郎 氏
16:00 ～ 16:40	施設見学（希望者のみ） ・共同研究支援部 計測分析室 ・シンクロトロン光利用施設

■ **申込方法** 下記の申込書にご記入の上、FAX、郵送または電子メールでお送りください。

■ **申込期限** 平成24年12月6日(木)

■ **参加費** 無料

■ **定員** 100名(先着順)

■ **交通のご案内**

- ・ 東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南」駅下車、北側すぐ
- ・ 猿投グリーンロード八草ICから西へ約800m

■ **申込及び問合せ先**

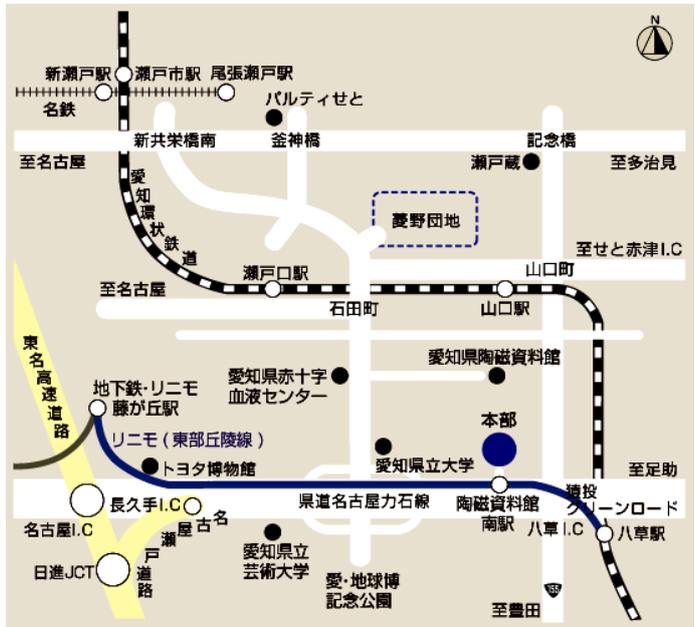
あいち産業科学技術総合センター  
共同研究支援部 計測分析室 鈴木、加納

〒470-0356 豊田市八草町秋合1267-1

電話：0561-76-8315 FAX：0561-76-8317

メール：AIC0000001@chinokyoten.pref.aichi.jp

URL：http://www.aichi-inst.jp/



計測分析に関する講演会「固体材料の微小領域解析事例」  
参加申込書

平成 年 月 日

あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部 計測分析室 鈴木、加納 宛  
FAX：0561-76-8317 メール：AIC0000001@chinokyoten.pref.aichi.jp

ふりがな	
企業名	
所在地	〒
ふりがな	
所属・氏名	
連絡先	TEL FAX
	メールアドレス
見学会への参加 (どちらかに○をつけて下さい)	参加 不参加

※ご記入いただいた個人情報は、セミナー情報の提供等、当センターからの各種連絡のために利用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

※受講票は発行いたしません。直接会場にお越し下さい。

「センターニュース」の配信新規登録希望の場合は、チェックしてください。